

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC65)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年12月26日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (4.0)	12/19	0	5.8	31.70	0	0	0	0
		5	5.8	31.70	0	0	0	0
		10	5.8	31.70	0	0	0	0
		15	5.8	31.70	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK28)

(函館水試担当地区)

2013年12月26日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 11.0	12/18	0	8.3	33.39	0	0	0	0	0	
		5	8.5	33.59	0	0	0	0	0	
		10	8.5	33.59	0	0	0	0	0	
		15	8.5	33.60	0	0	0	0	0	
		20	8.6	33.62	0	0	0	0	0	
		25	8.6	33.63	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 9.2	12/17	0	8.6	33.59	0	0	0	0	0	
		5	8.6	33.59	0	0	0	0	0	
		10	8.6	33.59	0	0	0	0	0	
		15	8.6	33.59	0	0	0	0	0	
		20	8.6	33.59	0	0	0	0	0	
		25	8.6	33.59	0	0	0	0	0	
		30	8.7	33.66	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェンシカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリホス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

水温は12月中旬は、噴火湾東部は8.3～8.6°C、噴火湾西部は8.6～8.7°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK27)

(函館水試担当地区)

2013年12月11日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 4.0	12/9	0	8.4	33.28	0	0	0	0	0	
		10	8.4	33.32	0	0	0	0	0	
		20	8.4	33.32	0	0	0	0	0	
		30	8.4	33.32	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 10.0	12/1	0	10.1	33.10	0	0	0	0	0	
		5	10.3	33.21	0	0	0	0	0	
		10	10.4	33.32	0	0	0	0	0	
		15	10.6	33.44	0	0	0	0	0	
		20	11.0	33.62	0	0	0	0	0	
		25	10.8	33.75	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 11.0	11/21	0	12.3	33.51	0	0	0	0	0	
		5	12.3	33.52	0	0	0	0	10	Di10
		10	12.3	33.52	0	0	0	0	0	
		15	12.3	33.52	0	10	0	0	20	Di20
		20	12.3	33.52	0	0	0	0	20	Di20
		25	12.3	33.53	0	0	0	0	10	Dru10
		30	11.9	33.61	0	0	0	0	0	
		40	11.3	33.70	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 11.0	12/9	0	14.0	33.35	0	0	0	0	0	
		10	14.0	33.36	0	0	0	10	10	Dc10
		20	14.0	33.36	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェンカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現していません。

水温は11下旬～12月上旬は、太平洋中部は8.4°C、噴火湾西部は10.1～11.0°C、噴火湾湾口部は11.3～12.3°C、津軽海峡14.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC64)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年12月11日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (15.5)	12/4	0	15.6	32.81	0	0	0	0
		10	15.7	33.44	0	0	0	0
		20	15.7	33.44	0	0	0	0
		30	15.7	33.44	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフイネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月の日本海南部(江差)海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC63)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年12月10日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
厚岸 (4.5)	12/9	0	6.4	32.23	0	0	0		10	Di
		5	6.6	32.34	0	0	0		0	
		10	7.6	32.81	0	0	0		20	Di
		13	7.6	32.84	0	0	0		0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
厚岸海域では、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC62)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年12月6日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖 (7.5)	12/3	0	5.0	31.17	0	0	20	0
		3	5.0	31.20	0	0	10	0
		6	5.0	31.18	0	0	40	0
		9	5.0	31.21	0	0	0	0
		12	5.0	31.23	0	0	30	0
		15	5.1	31.25	0	0	20	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

12月のサロマ湖海域では
麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
サロマ湖でアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC61)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年12月5日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (7.0)	11/29	0	6.9	31.53	0	0	10	0
		5	6.9	31.55	0	0	0	0
		10	8.2	31.96	0	0	0	0
		15	8.3	32.04	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
標津海域では、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC60)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年11月29日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (6.5)	11/25	0	11.1	31.19	0	0	0	0
		10	12.7	33.43	0	0	0	0
		20	13.2	33.78	0	0	0	0
		30	12.9	33.83	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
浜益海域では、出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC59)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年11月27日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (13.0)	11/19	0	12.9	33.36	0	0	0	0
		10	12.9	33.39	0	0	0	0
		20	13.5	33.70	0	0	0	0
		30	13.4	33.90	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の日本海北部海域(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB19)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年11月22日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (6.0)	11/22	0	6.2	31.00	0	30	250	0
		10	7.0	31.60	0	60	2210	10 Dn

At = *Alexandrium tamarense* アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルージェイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(11/22)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが最高2210細胞/L出現しています。また、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ノルウェジカが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC58)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年11月13日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (1.0)	11/12	0	9.4	32.63	0	10	0	0
		5	9.5	32.69	0	0	0	10
		10	10.0	33.06	0	0	0	0
		13	9.8	33.10	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
厚岸海域では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・インファンディブラがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC57)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年11月12日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	11/5	0	13.2	33.94	0	0	0	0
		10	13.2	33.95	0	0	0	0
		15	13.2	33.94	0	0	0	0
		20	-	-	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

11月の猿払海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
猿払海域で、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しました。□

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2013年11月11日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At	A.o.	D.fortii	D.acum.	D属の他種	
					細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内 太平洋中部 15.0	11/6	0	14.4	33.62	0	0	0	0	0	Dro10
		10	13.7	33.53	0	0	0	0	10	
		20	12.8	33.64	0	0	0	0	0	
		30	12.6	33.71	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.5	11/5	0	15.3	32.96	0	0	0	0	0	
		5	15.2	33.25	0	0	0	0	0	
		10	15.2	33.28	0	0	0	0	0	
		15	15.5	33.49	0	0	0	0	0	
		20	15.3	33.55	0	0	0	0	0	
		25	15.0	33.65	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 16.0	10/29	0	15.4	33.13	0	0	0	0	0	
		5	15.5	33.45	0	0	0	0	0	
		10	15.7	33.51	0	0	0	0	0	
		15	15.6	33.50	0	0	0	0	0	
		20	15.6	33.51	0	0	0	0	0	
		25	15.6	33.51	0	0	0	0	0	
		30	15.6	33.52	0	0	0	0	0	
		40	15.6	33.52	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現していません。

水温は10月下旬～11月上旬は、太平洋中部は12.6～14.4℃、噴火湾東部は15.0～15.5℃、噴火湾湾口部は15.4～15.7℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC56)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年11月8日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (7.0)	11/5	0	8.9	31.15	0	0	30	0
		10	10.5	32.58	0	10	20	0
		20	11.8	33.06	0	0	0	0
		30	12.4	33.37	0	0	0	0
サロマ湖 (8.3)	11/5	0	10.0	32.35	0	10	10	0
		3	10.2	32.56	0	10	40	0
		6	10.5	32.59	0	0	80	0
		9	10.6	32.61	0	10	100	0
		12	10.8	32.73	0	0	100	0
		15	11.4	32.94	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

11月上旬の網走中部(常呂)およびサロマ湖海域では
麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂でディノフィシス・フォルティとアキュミナータがわずかに、
サロマ湖でディノフィシス・フォルティがわずかに、アキュミナータがやや多く、それぞれ出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC55)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年11月5日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (7.0)	10/28	0	15.0	32.68	0	0	0	0
		10	15.7	33.29	0	0	0	0
		20	15.9	33.50	0	0	0	0
		30	15.9	33.53	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の日本海北部海域(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC54)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年10月29日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (2.0)	10/23	0	13.4	32.47	0	0	0	0
		5	13.1	32.50	0	0	10	0
		10	13.3	32.68	0	0	0	0
		15	13.3	32.75	0	0	0	0
浜益 (4.5)	10/25	0	15.4	30.95	0	0	0	0
		10	16.3	33.07	0	0	0	0
		20	16.5	33.44	0	0	0	0
		30	15.0	33.93	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
標津海域では、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。
浜益海域では、出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2013年10月25日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 11.5	10/15	0	17.9	33.05	0	0	0	0	0	Dt20
		10	17.9	33.08	0	0	0	0	0	
		20	17.9	33.10	0	0	0	0	20	
		30	17.6	33.15	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 12.6	10/19	0	16.9	32.89	0	0	0	0	0	Dm10, Di10
		5	16.8	32.93	0	0	0	0	20	
		10	16.8	33.00	0	0	0	0	0	
		15	16.7	33.58	0	0	0	0	0	
		20	15.5	33.90	0	0	0	0	0	
		25	14.6	33.98	0	0	0	0	0	
		30	14.2	34.00	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォールティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は10月中旬は、噴火湾西部は14.2～17.9℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB18)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年10月24日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (4.3)	10/23	0	13.2	32.92	0	40	100	230	Di200,Dc30
		10	13.4	33.05	0	10	240	150	Di

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(10/23)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが最高240細胞/L、デイノフィシス・インファンディブラが最高200細胞/L出現しています。また、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・カウダータが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は13.2°C、10m層の水温は13.4°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC53)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年10月23日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江 差 —	10/18	0	18.1	33.23	0	0	0	0
		10	18.2	33.35	0	0	0	0
		20	18.2	33.35	0	0	0	0
		30	16.7	33.98	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の日本海南部(江差)海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2013年10月15日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At	A.o.	D.fortii	D.acum.	D属の他種	
					細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
静内	10/7	0	18.5	33.33	0	0	0	0	20	Dt20
太平洋中部		10	18.3	33.40	0	0	0	0	10	Dro10
14.0		20	16.6	33.57	0	0	0	0	0	
		30	15.0	33.91	0	0	0	0	0	
知内	10/15	0	18.5	33.34	0	0	0	10	0	
津軽海峡		10	18.5	33.37	0	0	0	0	0	
10.5		20	18.2	33.53	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム=旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部と津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部と津軽海峡に出現しています。

水温は10月中旬は、太平洋中部は15.0～18.5°C、津軽海峡は18.2～18.5°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2013年10月15日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	10/7	0	18.6	32.90	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	18.6	32.88	0	0	0	0	10	Di10
12.5		10	18.9	33.13	0	0	0	0	0	
		15	18.8	33.27	0	0	0	0	0	
		20	18.6	33.37	0	0	0	0	0	
		25	18.0	33.48	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサントリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は10月上旬は、噴火湾東部は18.0～18.9°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC52)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年10月9日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (17.0)	10/7	0	17.7	33.82	0	0	0	0
		10	17.6	33.82	0	0	0	0
		20	17.4	33.83	0	0	0	0
		30	17.4	33.86	0	0	0	10 Di
サロマ湖 (6.0)	10/7	0	16.9	32.85	0	20	0	10 Di
		3	16.9	32.85	0	20	0	0
		6	16.8	32.84	0	0	0	20 Di
		9	16.8	32.85	0	0	0	0
		12	16.8	32.85	0	10	0	0
		15	16.8	32.90	0	10	0	0
猿払 -	10/2	0	18.0	33.93	0	0	0	0
		10	18.0	33.93	0	0	0	0
		15	18.0	33.94	0	0	0	0
		20	18.0	33.95	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月の常呂海域、サロマ湖および猿払で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、

常呂海域で、デイノフィシス・インファンディブラが、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティとインファンディブラが出現しました。□

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC51)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年10月4日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
厚岸 (3.0)	10/3	0	16.8	30.09	0	10	10		20	Dm20
		5	16.3	32.43	0	20	0		10	Dro10
		10	15.8	32.88	0	0	0		0	
		13	15.5	33.06	0	10	0		0	
標津 (7.5)	9/30	0	17.1	32.33	0	0	0		0	
		5	17.4	33.29	0	0	0		10	Dm
		10	17.4	33.39	0	0	0		0	
		15	16.5	33.59	0	0	0		10	Dro
江差 (18.0)	9/30	0	21.8	33.39	0	0	0		0	
		10	21.8	33.47	0	0	0		0	
		20	21.8	33.52	0	0	0		0	
		30	21.5	33.66	0	0	0		0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、

厚岸海域では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータおよびミトラが出現しています。

標津海域では、デイノフィシス・ロツンダータおよびミトラがわずかに出現しています。

江差海域では、出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2013年10月3日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	9/25	0	19.6	32.43	0	0	0	20	0	
噴火湾湾口部		5	19.5	32.75	0	0	0	10	10	Dm10
9.0		10	17.5	33.17	0	0	0	0	10	Dt10
		15	15.9	33.34	0	0	0	10	10	Dt10
		20	14.3	33.58	0	0	0	0	0	
		25	14.0	33.65	0	0	0	0	0	
		30	13.0	33.62	0	0	0	0	10	Dro10
		40	11.9	33.64	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィス ノルウェンカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は9月下旬は、噴火湾湾口部11.9～19.6℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年10月2日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (10.5)	9/27	0	20.0	32.54	0	10	10	0
		10	20.0	32.59	0	0	0	0
		20	20.5	33.38	0	0	0	0
		30	18.5	34.01	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の石狩湾(浜益)海域では麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。□

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC49)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年9月30日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (14.0)	9/20	0	21.1	33.42	0	0	0	0
		10	21.1	33.45	0	0	0	0
		20	21.2	33.64	0	0	0	0
		30	21.2	33.69	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

9月の日本海北部海域(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年9月26日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (2.5)	9/25	0	16.6	30.78	0	50	0	50	Dro30, Dm20
		5	16.3	32.27	0	30	0	30	Dro20, Dm10
		10	16.2	32.76	0	20	0	10	Dm
		13	15.7	32.96	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月下旬の厚岸で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
厚岸海域では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータおよびミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2013年9月25日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 11.0	9/19	0	19.6	33.27	0	0	0	0	0	
		10	19.9	33.63	0	0	0	0	0	
		20	19.1	33.69	0	0	0	0	0	
		30	16.4	33.76	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 12.0	9/13	0	21.5	31.56	0	0	0	0	0	
		10	20.4	32.65	0	0	0	0	0	
		20	18.9	33.37	0	0	10	10	0	
		30	16.3	33.32	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 14.0	9/13	0	23.3	33.12	0	0	0	0	0	
		10	22.6	33.42	0	0	0	0	30	Di30
		20	20.5	33.40	0	0	0	0	60	Di60

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェーガ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は9月中旬は、太平洋中部では16.4～19.6℃、噴火湾西部では16.3～21.5℃、津軽海峡では20.5～23.3℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB17)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年9月19日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.5)	9/13	0	20.5	33.22	0	0	0	190	Di10,Drt10,Dm170
		10	19.8	33.35	0	20	0	80	Di20,Drt30,Dm30

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(9/13)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトンデイノフィシス・ミトラが最高170細胞/L出現しています。また、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は20.5°C、10m層の水温は19.8°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2013年9月12日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 11.0	9/3	0	21.0	31.91	0	0	0	20	30	Dm30
		5	21.0	31.92	0	0	0	60	20	Dm10, Di10
		10	20.7	32.08	0	0	0	0	10	Dm10
		15	20.4	32.24	0	0	0	0	10	Dro10
		20	20.3	32.79	0	0	0	0	10	Dro10
		25	19.8	32.83	0	0	0	0	10	Dro10
八雲 噴火湾西部 9.1	9/10	0	21.8	30.63	0	0	0	620	90	Di90
		5	20.9	31.91	0	0	0	960	40	Di40
		10	20.1	32.89	0	0	0	440	30	Dro30
		15	19.8	33.26	0	0	10	440	0	
		20	19.4	33.38	0	0	0	30	0	
		25	18.9	33.46	0	0	0	20	0	
		30	16.4	33.36	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェンカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は9月上旬は、噴火湾東部では19.8～21℃、噴火湾西部では16.4～21.8℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年9月11日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (13.0)	9/9	0	19.7	33.39	0		0	0	0
		10	19.2	33.50	0		0	0	0
		20	19.2	33.51	0		0	0	0
		30	19.1	33.51	0		0	0	20
サロマ湖 (6.0)	9/9	0	20.6	32.71	0	Aa10	0	0	30
		3	20.6	32.68	0	Aa110	0	0	10
		6	20.4	32.85	0	Aa340	10	0	30
		9	20.0	32.92	0	Aa130	20	0	10
		12	19.3	33.24	0	Aa20	0	0	0
		15	19.0	33.41	0		0	0	0
厚岸 (2.0)	9/10	0	18.0	31.06	0		30	0	10
		5	16.7	32.54	0		120	0	70
		10	15.9	32.81	0		30	0	0
		13	15.5	32.98	0		0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンタリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月の常呂海域、サロマ湖および厚岸で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、

常呂海域で、デイノフィシス・ロツンダータとミトラが、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティ、ロツンダータおよびミトラが出現しました。□
厚岸海域では、デイノフィシス・フォルティがやや多く出現しています。デイノフィシス・ロツンダータも出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年9月10日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	9/3	0	19.4	33.80	0	0	0	10	Dm
		10	19.1	33.82	0	0	0	0	
		15	18.7	33.84	0	0	0	0	
		20	17.1	33.93	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフイネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei ディノフィシス ルジエイ

コメント

9月の宗谷北部(猿払)海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・ミトラがわずかに出現しています。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年9月3日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (5.5)	8/27	0	19.0	30.35	0	0	0	0
		5	18.9	33.14	0	0	0	0
		10	18.6	33.25	0	10	0	0
		15	18.6	33.25	0	20	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の根室海峡海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2013年9月2日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部 噴火湾湾口部 11.0	8/26	0	23.6	31.53	0	0	0	0	20	Dm20
		5	23.5	31.55	10	0	0	0	40	Di10, Dro30
		10	23.0	32.07	0	0	0	0	40	Di20, Dro20
		15	18.1	33.07	0	0	0	0	80	Dm20, Di30, Dro30
		20	15.6	33.40	0	0	10	0	30	Dm30
		25	11.3	33.43	0	0	30	10	50	Dm40, Di10,
		30	9.7	33.38	0	0	0	0	10	Dm10
		40	7.7	33.27	0	0	0	10	20	Di10, Dn10

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェンカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は8月下旬は、噴火湾湾口部では7.7～23.6℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月30日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	8/29	0	17.3	31.43	0	0	100	0
		5	15.8	32.45	0	0	10	10
		10	14.1	32.61	0	0	0	0
		13	13.9	32.71	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがやや多く、デイノフィシス・ロツンダータがわずかに出現しました。□

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月28日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (20.0)	8/22	0	24.2	33.53	0	0	0	0
		10	23.8	33.51	0	0	0	0
		20	23.6	33.59	0	0	0	0
		30	23.1	33.60	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月の日本海北部海域(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2013年8月26日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	8/19	0	23.9	27.29	0	0	0	40	240	Dm230, Di10
噴火湾西部		5	21.6	32.06	0	0	0	10	260	Dm120, Dro120, Di20
2.0		10	19.4	32.67	0	0	0	10	90	Dm70, Dro20
		15	17.7	32.76	0	0	0	0	30	Dm20, Dro10
		20	16.8	33.04	0	0	0	0	0	
		25	15.8	33.10	0	0	0	0	0	
		30	13.2	32.98	0	0	10	0	10	Dm10
森	8/13	0	23.7	30.16	0	0	0	0	80	Dm30, Dro30, Di20
噴火湾西部		10	20.3	32.60	0	0	0	0	50	Dm40, Dro10
8.0		20	17.9	33.52	0	0	10	30	0	
		30	16.3	33.61	0	0	10	0	10	Dm10
知内	8/26	0	24.2	33.53	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	22.3	33.76	0	0	0	0	0	
9.5		20	21.5	33.86	0	0	0	0	30	Dro20, Dru10

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクセス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は8月中旬は、噴火湾西部では13.2～23.9℃、津軽海峡では21.5～24.2℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB16)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年8月26日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (4.5)	8/23	0	22.8	33.00	0	0	0	40	Dm
		10	20.9	33.60	0	40	0	90	Di10,Drt80

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーガ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブーラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(8/23)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・インファンディブーラ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ミトラが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は22.8°C、10m層の水温は20.9°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月26日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (15.0)	8/20	0	24.5	33.30	0	0	0	0
		10	23.6	33.60	0	0	0	0
		20	22.5	33.68	0	0	0	10
		30	20.2	33.92	0	10	0	0

Dm

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月の石狩湾(浜益)海域では麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはデイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・ミトラがわずかに出現しています。□

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月23日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
頓別 (-)	8/19	0	22.2	33.45	0	0	0	10	Dro
		10	22.1	33.47	0	0	0	60	Dro40,Dm20
		20	21.8	33.51	0	0	0	10	Dm
		30	21.6	33.52	0	0	0	40	Dro

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月中旬の宗谷南部(頓別)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・ロツンダータとミトラがそれぞれわずかに出現しています。□

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月21日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (14.0)	8/12	0	20.0	33.84	0	0	0	10	Dro
		15	20.0	33.87	0	0	0	0	
		25	20.0	33.87	0	0	0	0	
		40	20.0	33.87	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

8月網走北部(紋別)では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンはディノフィシス・ロツンダータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB15)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年8月20日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
網走 (9.0)	8/19	0	21.4	33.33	0	0	0	0	
		10	19.5	33.62	0	0	0	80	Drt50,Dm30
		20	19.1	33.69	0	0	0	80	Drt
		30	17.8	33.73	0	0	0	10	Drt

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーカ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(8/19)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ミトラが少数出現しています。

網走定点の表面水温は21.4°C、30m層の水温は17.8°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年8月19日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (4.5)	8/12	0	26.0	31.22	0	0	0	0
		10	24.3	33.34	0	0	0	0
		20	22.6	33.87	0	0	0	0
		30	18.9	34.18	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月の日本海南部(江差)海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。□

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月12日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	8/6	0	18.7	33.85	0	0	0	0
		10	18.6	33.86	0	0	0	0
		15	18.5	33.87	0	0	0	0
		20	18.4	33.87	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の宗谷北部(猿払)海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月8日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
常呂 (18.0)	8/5	0	19.3	33.75	0	0	0		30	Dro
		10	18.3	33.76	0	0	0		20	Dro
		20	17.3	33.77	0	0	0		20	Dro
		30	16.1	33.82	0	0	0		50	Dro
サロマ湖 (9.5)	8/5	0	20.5	33.52	0	0	0		0	
		3	19.9	33.47	0	0	0		40	Dro
		6	19.9	33.48	0	0	0		20	Dro
		9	18.9	33.52	0	0	0		30	Dro
		12	17.7	33.49	0	30	0		60	Dro
		15	16.5	33.18	0	60	0		150	Dro

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェシカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の常呂海域およびサロマ湖で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティおよびデイノフィシス・ロツンダータが出現しました。□
常呂海域では、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2013年8月6日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	8/5	0	20.9	33.11	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	20.3	33.25	0	0	0	0	30	Dm20, Dru10
12.0		20	18.5	33.43	0	0	0	0	20	Dm10, Di10
		30	16.6	33.62	0	0	20	0	20	Dm10, Di10
虻田	8/5	0	21.2	31.07	0	0	0	0	10	Dm10
噴火湾東部		5	19.3	32.12	0	0	0	10	0	
9.0		10	18.6	32.28	0	0	0	10	10	Dm10
		15	18.1	32.54	0	0	0	10	0	
		20	17.5	32.94	0	0	0	0	0	
		25	16.5	33.26	0	0	0	0	0	
知内	7/29	0	21.7	33.15	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	21.7	33.17	0	0	0	0	20	Dm20
12.0		20	20.9	33.16	0	0	0	0	20	Dro20

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェンシカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

水温は7月下旬・8月上旬は、太平洋中部では16.6～20.9℃、噴火湾東部では16.5～21.2℃、津軽海峡では20.9～21.7℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月6日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (23.0)	7/30	0	21.8	33.58	0	0	0	0
		10	20.5	33.85	0	0	0	0
		20	20.2	33.90	0	0	0	0
		30	19.3	33.92	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の日本海北部海域(増毛)で麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB14)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年8月5日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.3)	7/31	0	20.0	33.50	0	0	60	10	Drt
		10	17.7	33.63	0	20	170	30	Drt

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブーラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(7/31)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが最高170細胞/L出現しています。また、デイノフィシス・フォルティとデイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は20.0°C、10m層の水温は17.7°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年8月5日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (6.0)	7/29	0	15.8	32.54	10	10	0	0
		5	15.7	32.57	20	10	0	0
		10	14.3	33.03	20	0	0	0
		15	13.5	33.17	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の根室海峡海域で麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年8月2日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.0)	8/1	0	16.1	31.20	0	10	70	0
		5	14.7	31.56	0	10	150	0
		10	11.7	32.45	0	0	10	0
		13	11.3	32.46	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがやや多く、デイノフィシス・フォルティがわずかに出現しました。□

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年7月30日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (18.0)	7/23	0	21.6	33.93	0	0	0	0
		10	21.5	33.93	0	0	0	0
		20	19.3	34.06	0	0	0	0
		30	18.0	34.18	0	0	0	0
浜益 (11.5)	7/23	0	21.5	32.76	0	0	0	0
		10	21.2	33.15	0	0	0	0
		20	20.0	33.69	0	0	0	0
		30	14.9	33.83	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の日本海南部(江差)および石狩湾(浜益)海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年7月25日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
常呂 (16.0)	7/22	0	18.0	33.46	0	0	0		0
		10	17.4	33.54	0	0	0		0
		20	15.2	33.75	0	0	0		0
		30	14.8	33.78	0	0	0		0
サロマ湖 (7.0)	7/22	0	20.3	33.12	0	0	0		0
		3	20.1	33.07	0	0	0		0
		6	19.4	32.98	0	0	0	20	Dro
		9	17.8	32.95	0	0	0	10	Dro
		12	16.4	33.21	0	40	10	0	
		15	14.9	32.79	0	80	0	20	Dro
厚岸 (2.5)	7/24	0	16.0	31.39	10	0	100	20	Dn
		5	13.7	32.05	0	0	20	0	
		10	11.0	32.30	0	0	30	20	Dn
		13	10.1	32.37	0	0	40	80	Dn70 Dro10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で、
麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ロツンダータが出現しました。口
厚岸では、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカおよびデイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2013年7月25日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/22	0	19.6	33.13	0	0	0	10	0	
太平洋中部		10	18.3	33.66	0	0	0	0	50	Dm40, Dro10
11.0		20	14.7	33.70	0	0	10	0	20	Dm20
		30	12.3	33.98	0	0	30	0	10	Dm10
虻田	7/23	0	21.4	31.42	0	0	0	0	60	Dro60
噴火湾東部		5	20.4	31.50	0	0	0	0	30	Dro30
11.0		10	18.5	31.78	0	0	0	0	0	
		15	16.6	31.95	0	0	0	10	0	
		20	14.3	32.38	0	0	0	30	0	
		25	11.1	32.50	0	0	50	160	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラククス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルウェンカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

水温は7月下旬は、太平洋中部では12.3～19.6°C、噴火湾東部では11.1～21.4°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB13)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年7月24日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (6.0)	7/23	0	20.2	32.72	0	0	0	10	Drt
		10	17.7	33.44	0	0	40	10	Di
		20	13.6	33.64	0	30	0	0	
		30	12.5	33.71	0	10	0	10	Di

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーガ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(7/23)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。

網走定点の表面水温は20.2°C、30m層の水温は12.5°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年7月24日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 (-)	7/16	0	18.0	33.39	0	0	0	10	Dm
		10	16.8	33.61	0	0	0	0	
		15	16.2	33.68	0	0	0	0	
		20	16.0	33.73	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフイネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei ディノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の宗谷北部(猿払)海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・ミトラが少し出現しています。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2013年7月23日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	7/10	0	18.2	32.22	0	0	0	20	60	Dro50, Dm10
		10	14.1	33.20	0	0	0	0	10	Dro10
		20	8.4	32.96	0	0	210	30	10	Di10
		30	8.1	33.30	0	0	40	0	0	
虻田 噴火湾東部 16.0	7/8	0	18.5	31.38	0	0	0	90	0	
		5	16.0	31.77	0	0	0	20	0	
		10	15.3	31.99	0	0	0	0	0	
		15	14.3	32.15	0	0	0	20	0	
		20	12.0	32.68	0	0	60	150	0	
		25	10.6	32.69	0	0	110	180	0	
八雲 噴火湾西部 15.5	7/16	0	20.3	31.30	0	0	0	40	10	Dro10
		5	15.9	32.08	0	0	0	30	10	Dro10
		10	14.0	32.34	0	0	0	30	0	
		15	9.3	32.39	0	0	20	110	20	Dn20
		20	6.1	32.55	0	0	10	170	60	Dn60
		25	4.9	32.71	0	0	0	70	80	Dn80
		30	4.4	32.83	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 17.0	7/9	0	18.6	31.18	0	0	0	420	0	
		10	15.9	31.79	0	0	10	20	0	
		20	15.0	32.22	0	0	0	30	0	
		30	6.3	32.48	0	0	0	60	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェンシカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は7月上・中旬は、太平洋中部では8.1～18.2℃、噴火湾東部では10.6～18.5℃、噴火湾西部では4.4～20.3℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB12)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年7月22日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (6.5)	7/19	0	19.9	33.16	0	0	10	10	Drt
		10	16.9	33.31	0	80	210	10	Dn

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(7/19)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが最高210細胞/L出現しています。また、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ノルウェジカ、デイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は19.9°C、10m層の水温は16.9°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年7月19日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (19.0)	7/11	0	18.8	33.37	0	0	0	0
		10	17.1	33.49	0	0	0	0
		20	15.9	33.54	0	0	0	0
		30	15.6	33.70	0	0	0	0
頓別 -	7/11	0	17.1	33.46	0	0	0	0
		10	16.3	33.49	0	0	0	0
		20	15.3	33.64	0	0	0	0
		30	14.5	33.67	0	0	0	0
江差 (21.0)	7/11	0	21.7	33.94	0	0	0	0
		10	21.3	33.95	0	0	0	0
		20	17.0	34.29	0	0	0	0
		30	15.5	34.32	0	0	0	0
紋別 (13.0)	7/12	0	18.0	33.39	0	0	0	0
		15	16.0	33.65	0	0	0	0
		25	15.7	33.68	0	0	0	0
		40	15.5	33.72	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の日本海南部(江差)、同北部(増毛)、宗谷南部(頓別)、網走北部(紋別)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年7月18日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (9.0)	7/10	0	15.9	31.88	10	0	0	0
		5	11.4	32.51	0	0	0	0
		10	11.3	32.79	0	0	0	0
		15	10.3	32.81	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の根室海峡海域で

麻痺性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年7月12日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	7/2	0	—	—	0	0	0	0
		10	12.9	33.59	0	0	0	0
		15	12.9	33.58	0	0	0	0
		20	12.9	33.57	0	0	0	0
常呂 17	7/8	0	16.2	33.42	0	0	0	0
		10	14.1	33.54	0	0	0	0
		20	14.0	33.58	0	0	0	0
		30	13.9	33.60	0	0	0	10
サロマ湖 8.2	7/8	0	18.8	33.03	0	0	0	0
		3	17.1	32.73	0	0	0	0
		6	16.1	33.00	0	20	0	0
		9	14.7	33.15	0	20	0	0
		12	13.6	33.37	0	0	0	0
		15	12.0	32.94	0	10	0	0
厚岸 (4.0)	7/9	0	16.2	31.46	0	0	80	0
		5	10.8	32.09	0	0	30	60
		10	7.6	32.33	0	0	60	100
		13	6.9	32.43	0	0	70	230

Dru

Dn

Dn

Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬の宗谷北部(猿払)、網走中部(常呂)、サロマ湖および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でディノフィシス・フォルティが少し、厚岸でディノフィシス・ノルウェジカがやや多く、アキュミナータが少し出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年7月3日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (15.5)	6/25	0	20.0	34.27	0	0	0	0
		10	16.5	34.20	0	0	0	0
		20	14.8	34.23	0	0	0	0
		30	14.5	34.27	0	0	0	0
増毛 (11.0)	6/25	0	18.0	32.35	0	0	0	0
		10	15.4	32.87	0	0	0	0
		20	13.8	33.39	0	0	0	0
		30	11.4	33.79	0	0	0	0
浜益 (8.5)	6/28	0	17.6	31.79	0	0	0	0
		10	16.9	33.40	0	0	0	0
		20	14.7	33.68	0	0	0	0
		30	12.6	33.88	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の日本海南部(江差)、同北部(増毛)、石狩湾(浜益)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年6月28日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (10.0)	6/24	0	12.2	31.63	0	0	30	0
		5	7.6	32.19	0	0	20	10 Dn
		10	5.7	32.42	0	0	0	30 Dn
		15	5.6	32.65	0	0	0	10 Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の根室海峡海域では
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルヴェジカがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年6月27日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.0)	6/26	0	14.3	30.85	70	0	0	0
		5	10.0	31.98	0	0	140	90
		10	7.2	32.26	0	0	10	50
		13	6.1	32.31	0	0	10	10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが最高70細胞/L出現しました。
本海域では二枚貝の麻痺性毒性値の推移に注意が必要です。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・アルウェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年6月26日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (14.0)	6/24	0	13.7	33.18	0	0	0	0
		10	12.5	33.44	0	0	0	0
		15	11.4	33.68	0	0	0	0
		20	11.3	33.73	0	0	0	0
サロマ湖 (8.0)	6/24	0	15.8	31.98	0	0	0	0
		3	15.0	31.79	0	0	0	0
		6	12.7	32.52	0	0	10	0
		9	13.1	32.97	0	0	20	0
		12	11.6	32.92	0	10	0	0
		15	10.8	32.84	0	0	0	20

Dn20

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月下旬の常呂、サロマ湖海域では
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖で ディノフィシス・フォルティ、ディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・ノルウェジカがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB11)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年6月25日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (8.9)	6/24	0	16.5	32.47	0	0	50	0
		10	12.7	33.05	0	30	30	10 Dn

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブーラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(6/24)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は16.5°C、10m層の水温は12.7°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年6月24日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	6/18	0	14.4	32.88	0	0	0	0
		10	12.9	33.41	0	10	0	0
		15	12.8	33.42	0	0	0	0
		20	12.8	33.43	0	0	0	0
紋別 (11.0)	6/17	0	13.3	33.11	0	0	0	0
		15	10.9	33.57	0	0	0	0
		25	10.3	33.76	0	0	0	0
		40	10.1	33.78	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月中旬の猿払、紋別海域では
麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、猿払で デイノフィシス・フォルティがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2013年6月24日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 11.0	6/20	0	13.4	32.43	10	0	20	30	0	
		10	10.5	32.66	0	0	10	10	10	Dn10
		20	8.4	32.84	0	0	10	0	10	Di10
		30	6.1	32.83	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.0	6/17	0	16.3	28.10	20	0	0	170	0	
		5	14.6	31.67	10	0	0	260	0	
		10	13.5	31.75	20	0	0	170	20	Dn20
		15	9.7	32.04	90	0	0	280	30	Dn30
		20	7.6	32.37	10	0	0	130	60	Dn60
		25	6.5	32.48	20	0	0	270	20	Dn20
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	6/18	0	13.6	31.70	140	0	10	130	0	
		5	10.1	32.01	50	10	120	140	20	Di20
		10	7.1	32.34	30	0	0	30	40	Dn40
		15	6.4	32.50	50	0	0	0	30	Dn30
		20	5.8	32.54	140	0	0	0	0	
		25	5.1	32.64	120	0	0	20	50	Dn40, Dro10
		30	4.6	32.70	10	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 10.0	6/14	0	15.0	33.92	0	0	0	0	0	
		10	13.8	33.99	0	0	0	0	40	Di20, Dro20
		20	13.4	33.99	0	0	10	10	20	Di10, Dru10

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェンシカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロトゥンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

水温は6月中旬は、太平洋中部では6.1～13.4℃、噴火湾東部では6.5～16.3℃、噴火湾湾口部では3.5～13.6℃、津軽海峡では13.4～15.0℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB10)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年6月19日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (8.0)	6/17	0	12.9	32.78	0	10	0	0	
		10	11.0	33.16	0	30	0	40	Dn
		20	9.8	33.26	0	0	20	10	Dn
		30	9.4	33.33	0	0	30	0	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(6/17)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカが少数出現しています。

網走定点の表面水温は12.9°C、30m層の水温は9.4°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB9)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年6月19日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.7)	6/13	0	15.0	32.36	0	0	60	10	Drt
		10	11.8	32.50	0	20	70	60	Dn50,Drt10

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(6/13)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は15.0°C、10m層の水温は11.8°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年6月17日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (15.0)	6/10	0	15.2	33.89	0	0	0	0
		10	13.6	33.94	0	0	0	0
		20	12.0	33.99	0	0	0	0
		30	11.0	34.04	0	0	0	0
増毛 (6.0)	6/11	0	16.9	27.62	0	0	0	0
		10	11.1	33.65	0	0	10	0
		20	10.4	33.72	0	0	0	0
		30	8.7	33.68	0	0	0	0
頓別 (-)	6/11	0	10.9	33.37	0	0	0	0
		10	10.9	33.38	0	0	0	0
		20	9.9	33.73	0	0	0	0
		30	9.7	33.76	0	0	0	0
厚岸 (2.0)	6/13	0	13.5	31.12	110	0	20	70
		5	9.1	32.02	90	0	10	70
		10	5.7	32.08	10	0	20	10
		13	4.9	32.27	0	0	10	10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月中旬の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痹性貝毒プランクトンAtが最高110細胞/L出現しました。

本海域では二枚貝の麻痹性毒性値の推移に注意が必要です。

6月上～中旬の日本海南部(江差)、同北部(増毛)、宗谷南部(頓別)では、

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でディノフィシス・ノルウェジカなどが少し、
増毛ではアキュミナータがわずかに、それぞれ出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年6月13日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	6/4	0	9.9	33.07	0	0	0	0
		10	9.6	33.31	0	0	0	0
		15	9.1	33.62	0	0	0	0
		20	9.1	33.62	0	10	0	0
常呂 (14.0)	6/10	0	13.5	32.67	0	10	0	0
		10	10.4	33.26	0	0	0	0
		20	9.3	33.49	0	0	0	0
		30	8.6	33.57	0	0	0	0
サロマ湖 (9.0)	6/10	0	15.0	31.54	0	0	0	0
		3	12.4	31.13	0	10	0	10
		6	10.7	32.04	0	0	10	0
		9	10.0	32.16	0	0	0	0
		12	9.4	32.36	0	0	0	10
		15	8.4	32.31	0	0	30	20
標津 (7.0)	6/7	0	9.5	31.49	0	0	0	0
		5	7.9	31.84	0	0	0	0
		10	6.3	32.04	0	0	0	0
		15	4.6	32.09	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

6月上旬の宗谷北部、網走中部、サロマ湖および根室海峡海域では
麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、猿払、常呂およびサロマ湖で ディノフィシス・フォルティなどが
わずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2013年6月11日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 8.0	6/6	0	11.2	31.76	0	0	40	0	20	Di10, Dn10
		10	8.6	32.52	0	0	0	0	10	Dn10
		20	7.9	33.26	0	0	0	0	10	Dn10
		30	4.7	33.00	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 7.0	6/3	0	14.3	29.50	40	0	0	30	0	
		5	13.0	31.50	0	0	0	70	0	
		10	10.8	31.73	70	0	0	170	0	
		15	9.4	32.03	170	10	0	20	10	Dn10
		20	8.1	32.28	140	10	0	0	30	Dn30
		25	6.2	32.51	10	0	0	20	10	Dn10
森 噴火湾西部 10.0	6/6	0	13.1	31.38	40	0	0	310	0	
		10	9.4	31.94	100	0	0	110	0	
		20	6.8	32.47	40	0	0	40	20	Dn20
		30	5.8	32.58	20	0	0	0	30	Dn30
八雲 噴火湾西部 15.3	6/10	0	15.2	31.56	30	0	0	50	0	
		5	12.8	31.63	10	0	0	70	0	
		10	8.8	32.17	140	0	0	50	10	Dn10
		15	7.9	32.34	150	0	0	20	0	
		20	6.9	32.48	100	0	0	0	10	Dn10
		25	5.9	32.57	30	0	0	10	10	Dn10
		30	5.4	32.68	40	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は6月上旬は、太平洋中部では4.7～11.2℃、噴火湾東部では6.2～14.3℃、噴火湾西部では5.4～15.2℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB8)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年6月5日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (7.4)	6/1	0	11.1	32.07	0	0	20	0
		10	8.9	32.46	0	0	120	90 Dn70,Drt20

At = *Alexandrium tamarense* アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(6/1)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが最高120細胞/L出現しています。また、デイノフィシス・ノルウェジカとデイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は11.1°C、10m層の水温は8.9°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2013年6月4日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 8.5	5/20	0	9.0	29.80	80	0	0	40	10	Dn10
		5	7.4	32.05	60	0	0	50	40	Dn40
		10	6.4	32.45	20	50	0	30	40	Dn40
		15	6.3	32.51	10	0	0	0	10	Dn10
		20	6.1	32.53	20	30	0	0	0	
		25	5.3	32.45	10	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 10.0	5/29	0	7.7	32.26	420	0	0	10	0	
		10	6.0	32.42	30	0	0	0	10	Dn10
		20	5.8	32.57	0	0	0	0	0	
		30	5.1	32.66	60	10	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	5/22	0	8.6	32.23	240	0	0	0	0	
		5	8.1	32.23	70	20	0	30	0	
		10	6.7	32.35	60	0	0	0	0	
		15	6.0	32.56	40	0	0	0	20	Dn20
		20	5.1	32.56	0	40	0	0	0	
		25	4.9	32.56	10	10	0	0	0	
		30	4.7	32.68	0	0	0	0	0	
		40	4.2	32.88	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は5月下旬は、噴火湾東部では5.3～9.0℃、噴火湾西部では5.1～7.7、噴火湾湾口部では4.2～8.6℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年6月3日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			Dn
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (3.0)	5/28	0	7.5	28.68	0	0	0	10	
		5	2.7	32.33	0	0	0	0	
		10	1.6	32.55	0	0	0	0	
		15	1.6	32.55	0	0	0	0	
浜益 (5.5)	5/28	0	12.2	31.07	0	0	10	0	
		10	10.9	31.38	0	10	0	0	
		20	9.4	33.80	0	0	0	0	
		30	8.7	33.85	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の標津および浜益海域で麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津海域で ディノフィシス・ノルウェジカが、
浜益海域では、ディノフィシス・フォルティとディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年5月30日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江 差 (11.5)	5/23	0	12.0	33.84	0	0	0	10	Di
		10	11.8	33.88	0	0	0	10	Di
		20	11.7	33.92	0	0	0	0	
		30	11.5	33.89	0	10	0	10	Di

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の江差海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティとディノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年5月29日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 (-)	5/21	0	7.0	33.39	0	0	0	0
		10	7.0	33.40	0	0	0	0
		15	7.0	33.44	0	0	10	0
		20	6.9	33.53	0	0	10	0
厚岸 (2.5)	5/28	0	8.8	30.77	0	0	10	20
		5	6.8	31.39	0	0	10	20
		10	3.9	31.97	0	0	0	0
		13	3.1	32.16	0	0	0	20

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月下旬の宗谷北部(猿払)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、猿払で ディノフィシス・アキュミナータが、厚岸でディノフィシス・ノルヴェジカ、アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年5月22日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (5.0)	5/14	0	4.6	29.57	0	0	0	0	
		5	3.4	31.76	0	0	0	0	
		10	1.8	32.31	0	0	0	0	
		15	1.7	32.35	0	0	0	0	
常呂 (10.0)	5/20	0	6.4	33.06	0	0	0	0	
		10	5.2	33.68	0	0	10	0	
		20	5.1	33.73	0	0	0	0	
		30	5.0	33.76	0	0	0	0	
サロマ湖 (4.5)	5/20	0	6.8	30.17	0	0	10	10	Dn10
		3	6.2	30.61	0	0	60	50	Dn50
		6	5.6	30.99	0	0	20	0	
		9	5.1	31.81	0	0	0	0	
		12	4.2	32.26	0	0	10	0	
		15	3.9	32.30	0	0	0	10	Dn10
紋別 (5.0)	5/15	0	5.0	33.30	0	0	0	0	
		15	4.8	33.97	0	0	10	0	
		25	4.7	33.97	0	0	30	30	Di20,Dn10
		35	4.7	33.93	0	0	0	0	
頓別 -	5/17	0	6.1	33.78	0	0	0	0	
		10	5.9	33.83	0	0	0	0	
		20	5.9	33.84	0	0	10	0	
		30	5.9	33.83	0	0	0	0	
増毛 (8.5)	5/16	0	9.0	30.65	0	0	0	0	
		10	8.0	32.78	0	0	0	0	
		20	7.7	32.89	0	0	10	0	
		30	7.7	33.13	0	0	0	10	Dro10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

5月中旬の標津、常呂、サロマ湖、紋別、頓別、増毛海域では、
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、
デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現している海域がありま

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2013年5月22日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 7.0	5/20	0	4.5	32.10	0	0	0	0	0	
		10	3.8	32.54	0	0	0	0	0	
		20	3.1	32.51	0	0	0	0	0	
		30	2.1	32.58	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 12.4	5/17	0	9.1	31.59	50	0	0	0	0	
		5	8.1	31.73	20	0	0	10	0	
		10	6.8	31.95	10	0	0	0	0	
		15	6.4	32.48	10	10	0	0	0	
		20	6.0	32.53	20	10	0	0	0	
		25	5.8	32.62	20	10	0	0	0	
		30	5.8	32.63	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトニコラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現していません。

水温は5月中旬は、太平洋中部では2.1～4.5℃、噴火湾西部では5.8～9.1℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB7)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年5月21日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (5.0)	5/20	0	3.9	31.51	0	0	310	90	Dn
		10	2.3	32.78	0	0	10	0	
		20	2.3	32.95	0	0	0	0	
		30	2.4	33.09	0	0	0	10	Dn

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルヴェジカ

Di = *Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* ディノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* ディノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(5/20)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン ディノフィシス・アキュミナータが最高310細胞/L出現しています。また、ディノフィシス・ノルヴェジカが少数出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

網走定点の表面水温は3.9°C、30m層の水温は2.4°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB6)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年5月20日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (5.5)	5/17	0	7.2	30.22	0	0	160	0
		10	3.9	31.99	0	0	10	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブーラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(5/17)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが最高160細胞/L出現しています。下痢性貝毒の毒性値に注意が必要です。

能取湖定点の表面水温は7.2°C、10m層の水温は3.9°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年5月16日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (8.5)	5/10	0	10.5	33.49	0	0	0	10	Di
		10	10.2	33.71	0	10	0	10	Di
		20	9.9	33.87	0	10	20	30	Di20,Dro10
		30	9.3	33.97	0	0	10	0	
猿払 (-)	5/8	0	4.5	33.98	0	0	0	10	Di
		10	4.5	33.97	0	0	20	10	Di
		15	4.5	33.97	0	0	10	0	
		20	4.5	33.97	0	0	10	0	
厚岸 (3.5)	5/15	0	5.9	30.36	0	0	10	0	
		5	4.8	31.69	0	0	0	10	Dn
		10	3.9	31.96	0	0	0	10	Dru
		13	3.4	32.05	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月上～中旬の日本海南部(江差)、宗谷北部(猿払)および太平洋東部(厚岸)海域では、
麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差で ディノフィシス・フォルティとアキュミナータなど、
猿払と厚岸でアキュミナータなどがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年5月14日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (7.0)	5/10	0	1.6	32.45	0	0	20	0
		10	2.3	32.77	0	0	20	0
		20	2.4	32.78	0	0	10	20
		30	2.5	32.85	0	0	20	20

Dn
Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬の網走中部(常呂)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2013年5月13日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	5/7	0	2.9	31.85	0	0	0	20	0	
太平洋中部		10	2.1	32.32	0	0	0	0	0	
6.0		20	1.9	32.44	0	0	0	0	0	
		30	1.9	32.52	0	0	0	0	10	Dro10
虻田	5/7	0	5.1	31.41	0	10	0	0	0	
噴火湾東部		5	4.5	32.83	0	0	0	0	0	
8.5		10	4.2	32.89	0	0	0	0	0	
		15	3.9	32.95	0	0	0	0	0	
		20	3.6	33.03	0	0	0	0	0	
		25	3.5	33.09	0	0	0	0	0	
森	5/2	0	4.8	32.75	0	10	0	0	0	
噴火湾西部		10	4.7	32.76	0	10	0	0	0	
16.0		20	3.4	33.03	0	0	0	0	0	
		30	2.9	33.09	0	0	0	0	0	
知内	5/10	0	9.2	33.88	0	0	10	0	0	
津軽海峡		10	9.1	33.89	0	0	0	0	0	
13.0		20	9.1	33.89	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現していません。

水温は5月上旬は、太平洋中部では1.9～2.9℃、噴火湾東部では3.5～5.1℃、噴火湾西部では2.9～4.8℃、津軽海峡では9.1～9.2℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年5月10日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖 (4.7)	5/7	0	5.3	31.05	0	0	0	0
		3	5.3	31.07	0	0	10	0
		6	5.3	31.09	0	0	0	0
		9	5.3	31.16	0	0	0	0
		12	5.2	31.14	0	0	20	0
		15	5.1	31.65	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

5月上旬のサロマ湖では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年5月7日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (7.0)	4/30	0	6.7	31.76	0	0	20	0
		10	6.4	33.78	0	0	50	0
		20	6.5	33.84	0	20	0	0
		30	6.5	33.84	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rugei ディノフィシス ルジエイ

コメント

4月下旬の日本海北部(増毛)では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティとディノフィシス・アキュミナータが増毛で出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年5月2日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (10.5)	4/30	0	9.4	33.81	0	10	0	0
		10	9.3	33.90	0	0	0	0
		20	9.2	33.98	0	0	0	0
		30	9.2	33.98	0	0	0	0
浜益 (2.6)	4/30	0	6.4	22.08	0	0	260	0
		10	6.7	33.75	0	0	0	0
		20	6.6	33.89	0	0	10	0
		30	6.6	33.95	0	0	30	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月下旬の日本海南部(江差)および石狩(浜益)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、石狩(浜益)海域でデイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。日本海南部(江差)海域では、デイノフィシス・フォルティがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB5)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年5月2日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (1.5)	4/30	0	4.0	30.03	0	0	40	0
		10	4.6	31.54	0	0	40	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーカ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブーラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(4/30)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は4.0°C、10m層の水温は4.6°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2013年4月25日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 5.0	4/23	0	2.3	32.62	0	0	0	0	0	
		10	1.8	32.82	0	0	0	0	0	
		20	1.9	32.85	0	0	0	0	0	
		30	1.9	32.89	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 14.5	4/22	0	5.9	31.66	20	0	0	0	0	
		5	4.9	32.71	30	0	0	10	0	
		10	4.1	32.93	0	0	0	0	0	
		15	3.9	32.98	0	0	0	0	0	
		20	3.8	32.98	0	0	0	0	0	
		25	3.8	32.99	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 6.0	4/22	0	3.7	32.44	0	0	0	0	0	
		10	2.9	33.07	0	0	0	0	0	
		20	2.9	33.10	0	0	0	0	0	
		30	2.7	33.10	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム=旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェンカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現していません。

水温は4月下旬は、太平洋中部では1.9～2.3℃、噴火湾東部では3.8～5.9℃、噴火湾西部では2.7～3.7℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年4月25日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (4.4)	4/17	0	6.3	30.99	0	0	0	0
		10	6.4	32.74	0	0	180	0
		20	6.2	33.17	0	0	0	0
		30	6.3	33.39	0	10	10	0
猿払 (-)	4/23	0	5.8	33.88	0	0	20	0
		5	5.8	33.89	0	0	10	0
		15	5.8	33.90	0	0	0	0
		20	5.8	33.90	0	0	10	0
常呂 (4.4)	4/23	0	6.3	33.24	0	0	0	0
		10	6.0	33.78	0	0	30	0
		20	5.4	33.93	0	0	40	0
		30	5.4	33.97	0	0	30	0
サロマ湖 (5.0)	4/23	0	5.0	31.11	0	0	40	0
		3	4.9	31.24	0	0	10	0
		6	4.9	31.38	0	0	20	0
		9	4.9	31.51	0	0	20	0
		12	5.0	31.85	0	0	0	0
		15	4.7	31.54	0	0	0	0
厚岸 (1.5)	4/23	0	3.1	31.09	0	0	0	0
		5	1.3	32.01	0	0	0	0
		10	1.0	32.19	0	0	0	0
		13	0.9	32.23	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

4月中～下旬の日本海北部(増毛)、宗谷北部(猿払)、網走中部(常呂)、サロマ湖および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが増毛でやや多く、猿払、常呂口およびサロマ湖でわずかに、それぞれ出現しています。
増毛ではディノフィシス・フォルティがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2013年4月19日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 5.0	4/16	0	4.4	31.45	0	0	0	0	0	
		10	3.4	31.83	0	0	0	0	0	
		20	0.9	32.61	0	0	0	0	0	
		30	2.0	33.05	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.5	4/16	0	4.5	31.71	0	0	0	0	0	
		5	4.0	32.47	0	0	0	0	0	
		10	3.7	32.70	0	0	0	0	0	
		15	3.2	33.05	0	0	0	0	0	
		20	3.0	33.09	0	0	0	0	0	
		25	2.9	33.11	0	0	0	0	0	
		30	2.8	33.17	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	4/18	0	4.3	32.66	0	10	0	0	0	
		5	4.0	32.66	0	0	0	0	0	
		10	3.9	32.69	0	0	0	0	10	Dn10
		15	3.8	32.70	0	0	0	0	0	
		20	3.8	32.85	0	0	0	0	0	
		25	3.7	32.93	0	0	0	0	0	
		30	3.3	33.05	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 5.0	4/15	0	7.8	33.39	0	0	0	0	0	
		10	7.9	33.81	0	0	0	10	0	
		20	7.8	33.82	0	0	0	10	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロトゥンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現していません。

水温は4月中旬は、太平洋中部では0.9～4.4℃、噴火湾西部では2.8～4.5℃、噴火湾湾口部では3.3～4.3℃、津軽海峡では7.8～7.9℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB4)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年4月24日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (4.6)	4/18	0	4.0	30.86	0	0	50	0
		10	1.0	32.30	0	0	0	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサン德里ウム・タマレンセ = 旧名 プロトゴニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーガ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

能取湖定点(4/18)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

能取湖定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータが少数出現しています。

能取湖定点の表面水温は4.0°C、10m層の水温は1.0°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年4月22日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (4.4)	4/18	0	8.5	33.24	0	0	0	0
		10	8.1	33.78	0	0	40	0
		20	7.9	33.93	0	0	10	0
		30	7.5	33.97	0	0	0	0
標津 (5.0)	4/19	0	-1.0	32.03	0	0	0	0
		5	-1.0	31.98	0	0	0	0
		10	-1.0	31.98	0	0	0	0
		15	-1.1	31.98	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月中旬の日本海南部(江差)および根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差で デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。□

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB3)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年4月19日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別 (-)	4/16	0	6.0	32.75	0	0	30	0
		10	5.8	33.05	0	0	90	0
		20	5.7	33.44	0	0	50	0
		30	5.7	33.55	0	0	90	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* ティノフィス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* ティノフィス・ノルウェーガ

Di = *Dinophysis infundibula* ティノフィス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* ティノフィス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* ティノフィス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* ティノフィス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* ティノフィス・カウダータ

コメント

頓別定点(4/16)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

頓別定点では下痢性貝毒プランクトン ティノフィス・アキュミナータが少数出現しています。

頓別定点の表面水温は6.0°C、30m層の水温は5.7°Cでした。

(担当: 平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年4月18日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (18.0)	4/15	0	0.8	32.91	0	0	10	0
		10	1.5	32.90	0	0	0	0
		20	2.1	32.98	0	0	0	0
		30	2.0	32.96	0	0	10	0
サロマ湖 (2.7)	4/15	0	4.0	30.34	0	0	0	0
		3	3.9	30.51	0	0	0	0
		6	2.7	31.68	0	0	10	0
		9	2.4	31.77	0	0	0	0
		12	2.0	31.78	0	0	0	0
		15	1.1	32.04	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂で ディノフィシス・アキュミナータが、サロマ湖でディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB2)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年4月18日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別 (11.0)	4/15	0	2.5	33.1	0	0	70	0
		15	3.1	33.36	0	0	10	0
		25	2.9	33.39	0	0	40	0
		B(39.9)	2.7	33.41	0	0	20	0

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ

Da = *Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn = *Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェーカ

Di = *Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Drt = *Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ

Drd = *Dinophysis rudgei* ディノフィシス・ルジエイ

Dm = *Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ

Dc = *Dinophysis caudata* ディノフィシス・カウダータ

コメント

紋別定点(4/15)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

紋別定点では下痢性貝毒プランクトン ディノフィシス・アキュミナータが少数出現しています。

紋別定点の表面水温は2.5°C、底層(39.9m)の水温は2.7°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(AB1)

(オホーツク海域・能取湖)

2013年4月16日

網走水産試験場調査研究部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (7.5)	4/15	0	2.3	32.81	0	0	10	10	Drt
		10	2.0	32.79	0	0	40	0	
		20	1.9	32.78	0	0	40	0	
		30	1.6	32.79	0	0	10	0	

At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ

Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェーカ

Drt = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ

Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブーラ

Drd = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・カウダータ

コメント

網走定点(4/15)では麻痺性貝毒プランクトンは出現していません。

網走定点では下痢性貝毒プランクトン デイノフィシス・アキュミナータとデイノフィシス・ロツンダータが少数出現しています。

網走定点の表面水温は2.3°C、30m層の水温は1.6°Cでした。

(担当:平野和夫)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年4月15日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	4/10	0	4.6	33.62	0	0	0	0
		10	4.6	33.89	0	0	0	0
		15	4.6	33.90	0	0	0	0
		20	4.6	33.90	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の猿払海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは
出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2013年4月10日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 2.5	4/9	0	3.8	30.95	0	0	0	10	0	
		5	3.8	32.81	0	0	0	0	0	
		10	3.7	32.94	0	0	0	0	0	
		15	3.7	33.01	0	10	0	0	0	
		20	3.7	33.09	0	0	0	0	0	
		25	3.6	33.11	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 6.0	4/2	0	3.7	32.44	0	0	0	0	0	
		10	2.9	33.07	0	0	0	0	0	
		20	2.7	33.10	0	0	0	0	0	
		30	2.7	33.10	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトニコラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

水温は4月上旬は、噴火湾東部では3.6～3.8℃、噴火湾西部では2.7～3.7℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年4月8日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (2.0)	4/4	0	2.9	30.49	0	0	0	0
		5	0.5	31.84	0	0	0	0
		10	-0.1	32.12	0	0	0	0
		13	0.0	32.11	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2013年3月26日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部 噴火湾湾口部 6.5	3/25	0	3.0	32.78	0	0	0	30	0	
		5	2.7	32.80	10	0	0	0	0	
		10	2.5	32.81	0	0	0	0	0	
		15	2.4	32.86	0	0	0	0	0	
		20	2.5	32.94	0	0	0	20	0	
		25	2.5	32.94	0	0	0	0	0	
		30	2.5	32.97	0	10	0	0	0	
		40	2.6	33.00	0	10	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシ フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシ・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシ ノルウェーガ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシ トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシ ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシ コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシ インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシ ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシ ロチュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾西部では2.4～3.0℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2013年3月26日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	3/13	0	2.0	31.78	0	0	0	10	0	
噴火湾西部		10	2.1	33.08	0	0	0	0	0	
6.4		20	2.2	33.19	0	0	0	0	0	
		30	2.2	33.19	0	0	0	10	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 プロトコニオラクタス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii
 Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ
 Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾西部では2.0～2.2℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年3月25日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (12.5)	3/15	0	-1.0	32.03	0	0	0	0
		5	-1.0	31.98	0	0	0	0
		10	-1.0	31.98	0	0	0	0
		15	-1.1	31.98	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2013年3月18日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 6.4	3/13	0	2.1	32.60	0	0	0	10	0	
		5	2.0	32.97	20	10	0	0	0	
		10	2.0	33.11	0	0	0	50	0	
		15	2.0	33.13	0	10	0	0	0	
		20	2.0	33.13	0	0	0	0	0	
		25	2.0	33.14	0	0	0	10	0	
		30	2.1	33.17	0	0	0	0	0	

**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾西部では2.0～2.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2013年3月11日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	3/5	0	0.0	32.50	0	0	0	0	0	
		10	0.0	32.49	0	0	0	0	0	
		20	0.0	32.52	0	0	0	0	0	
		30	0.0	32.51	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 9.5	3/4	0	2.2	32.90	0	10	0	10	0	
		5	2.3	33.15	0	0	0	20	0	
		10	2.4	33.23	0	0	0	10	0	
		15	2.4	33.25	0	0	0	0	0	
		20	2.4	33.28	0	0	0	0	0	
		25	2.4	33.31	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 15.0	2/26	0	6.2	33.72	0	0	0	0	0	
		10	6.2	33.76	0	0	0	10	0	
		20	6.3	33.81	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 20.0	3/8	0	7.4	33.59	0	0	0	0	0	
		10	7.4	33.93	0	0	0	0	0	
		20	7.2	33.92	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は2月下旬は、津軽海峡は6.2～6.3℃です。

水温は3月上旬は、太平洋中部では0.0℃、噴火湾東部では2.2～2.4℃、津軽海峡は7.2～7.4℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年3月7日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (2.0)	3/5	0	-1.2	31.50	0	0	10	0
		5	-1.3	31.90	0	0	0	0
		10	-1.2	32.02	0	0	0	0
		13	-1.0	32.25	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

3月の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2013年2月19日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	2/6	0	3.8	33.20	0	0	0	10	0	
		10	4.3	33.41	0	0	0	0	0	
		20	4.9	33.56	0	0	0	0	0	
		30	4.3	33.60	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 15.0	2/12	0	2.5	33.20	0	0	0	0	10	Dro10
		5	2.6	33.22	0	0	0	0	0	
		10	2.7	33.27	10	0	0	0	0	
		15	3.0	33.37	0	0	0	0	0	
		20	3.2	33.40	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.48	0	0	0	10	0	
八雲 噴火湾西部 15.9	2/12	0	2.6	33.21	10	0	0	0	0	
		5	2.6	33.21	0	0	0	10	0	
		10	2.6	33.23	10	0	0	0	0	
		15	2.7	33.25	10	0	0	0	0	
		20	2.8	33.25	0	0	0	0	0	
		25	2.8	33.25	0	0	0	10	0	
		30	3.4	33.31	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、噴火湾東部に出現しています。

水温は2月上中旬は、太平洋中部では3.8～4.9℃、噴火湾東部では2.5～3.4℃、噴火湾西部は2.6～3.4℃です。

(担当:馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2013年2月19日

函館水産試験場調査研究部

地 点 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 11.0	1/8	0	6.5	33.61	0	0	0	0	0	Dc10
		10	6.6	33.68	0	0	0	0	10	
		20	6.9	33.73	0	0	0	0	0	
		30	6.5	33.72	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.0	1/15	0	5.0	33.15	0	0	0	0	0	
		5	5.3	33.75	0	0	0	0	0	
		10	5.3	33.76	0	0	0	0	0	
		15	5.2	33.75	0	0	0	0	0	
		20	5.2	33.76	0	0	0	0	0	
		25	5.3	33.76	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 9.1	1/17	0	4.5	33.75	0	0	0	0	0	
		5	4.5	33.76	0	0	0	0	0	
		10	4.5	33.76	0	0	0	0	0	
		15	4.5	33.76	0	0	0	0	0	
		20	4.4	33.76	0	0	0	0	0	
		25	4.4	33.75	0	0	0	0	0	
		30	4.4	33.75	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 22.0	1/29	0	8.4	33.88	0	0	0	0	0	
		10	8.4	33.91	0	0	0	0	0	
		20	7.7	33.88	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサン德里ウム =旧名 フロトニコラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

水温は1月は、太平洋中部では6.5～6.9℃、噴火湾東部では5.0～5.3℃、噴火湾西部は4.4～4.5℃、津軽海峡7.7～8.4℃です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年2月19日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (16.0)	2/18	0	-1.6	31.47	0	0	0	0
		5	-1.6	31.47	0	0	0	0
		10	-1.7	31.49	0	0	0	0
		15	-1.7	31.53	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rugei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年2月6日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.5)	2/5	0	-1.3	31.90	0	0	0	0
		5	-1.2	31.99	0	0	0	0
		10	-0.9	32.14	0	0	0	0
		13	-0.9	32.15	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

2月の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2013年1月31日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (12.0)	1/28	0	-0.7	31.65	0	0	0	0
		5	-0.7	31.67	0	0	0	0
		10	-0.7	31.67	0	0	10	0
		15	-0.7	31.68	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ=旧名 フロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。□

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2013年1月18日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (5.5)	1/16	0	-0.8	32.00	0	0	10	0
		5	0.2	32.31	0	0	10	0
		10	0.3	32.36	0	0	10	0
		13	0.3	32.35	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月中旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)
(函館水試担当地区)

2013年1月7日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地 点 海 域 透明度(m)	月 日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 19.0	12/21	0	7.5	33.94	0	0	0	0	0	
		5	7.5	33.95	0	0	0	0	0	
		10	7.5	33.95	0	0	0	0	0	
		15	7.5	33.95	0	0	0	0	0	
		20	7.5	33.95	0	0	0	0	0	
		25	7.5	33.95	0	0	0	0	0	
		30	7.5	33.95	0	0	0	0	0	

*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ
Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii
Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス
Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ
Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ
Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

コメント
麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。
下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部には出現していません。
水温は12月中旬は、噴火湾西部では7.5℃です。